

令和５年度 第３回人吉市地域公共交通活性化協議会
令和５年度 第３回人吉市地域公共交通会議
合同会議 会議録

日時：令和６年３月１日（金） １５時００～１６時１０分

場所：人吉市役所３階 庁議室

出席者：別紙名簿のとおり

結果：すべて承認

各議事における要旨は以下のとおり

１ 議事

（１）議事１ 令和５年度事業報告

（事務局）

議事１について説明。

質問・意見等

（人吉市町内会連合会 吉田会長）

各町内会の総会などを通じて、住民の方に公共交通計画や交通網の内容についてお知らせいただき、フルに使ってもらえるようにさらなるＰＲをしていただきたい。

要望があれば、連合会でも話をしたいと考えています。

（事務局）

公共交通に関する情報提供が不足しているということは認識しております。来年度は路線の内容や、乗り方など町内会などに協力いただき、情報提供を考えております。

（熊本県企画振興部交通政策・統計局交通政策課 代理 高松交通政策課審議員）

Ｐ６の市街地エリアにおける新たな移動サービスの導入・じゅぐりっと号のサービス強化で、内閣府の補助金については採用されなかったということでしたが、来年度のじゅぐりっと号の接続を強化していくメニューなど、考えていることがあったら教えてほしい。

Ｐ７の他分野での意見交換で出た意見の中で、来年度の事業に反映することや、今時点で考えていることがあれば教えてほしい。

Ｐ８のＭａａＳについてですが、アイデアコンテストでの提案した内容を教えてほしい。

Ｐ１０のＬＩＮＥアカウントのリニューアルについて、実際、このリニューアルをすることで事業計画の情報発信は達成に近づいていると思いますが、ＬＩＮＥの電話機能を使った方（利用者）、それで増えたということが分かれば教えてほしい。

（事務局）

１点目のご質問ですが、今回補助事業に挑戦をしたことで、レスターコミュニケーションズ（ＥＶバスを得意とする会社）とつながることができ、どこに導入することができるのかという検討材料になりました。

また、本市の都市計画課や関係課と協議を行っており、他部署の考え（移動サービスを導入してほしい地区など）が分かったことが大きい。具体的な取組内容については、そういった部署や状況を見ながら検討したいと思っています。

2点目の生活支援コーディネーター（福祉部門）と意見交換をさせていただきましたが、意見としては、公共交通がどこを通っているのかがわからないという意見を多くいただいております。やはり、市からの広報、情報提供をやらないといけないと思っております。

3点目のM a a Sに関する発表内容ですが、課題として残っている人吉 I Cから人吉市街地に来るまでの移動手段だと考えておりますので、また、決済についてもバスに乗って支払い、タクシーに乗って支払い、飲食して支払いと一括で出来ないのでは、M a a Sを使って予約から決済まで一括で出来ないかという、あくまでアイデアベースの発表をしました。また、交通系M a a Sにとどまらず、観光もすべて含めて構築したほうがいいものになるのではないかと提案をさせていただきました。

4点目のL I N Eの電話機能を使った内容ですが、2月1日からの運用開始ということで、数字が見えていない状況です。乗合タクシーを普段使っていただいている世代の方より、若い世代の方に知っていただく機会になったかと思っております。

（大分大学経済学部 大井教授）

共創というプロジェクトで実証実験などは予算が取れる（補助率が高い）ので、そういったものを活用して、「じゅぐりっと号の強化」などを行ってほしい。ぜひ、応募してほしい。

町内会長連合会からも要望があったと思いますが、バスなどに乗ってもらうために、情報だけを流して乗ってもらうことは難しいと思います。町に買い物に行くとか、遊びに行くといったイベントをして、実際に乗って自信をつけてもらう。そういった取組を、庁内会長や老人会を通してやってもらうことが大事。

（人吉市地域公共交通活性化協議会 迫田会長）

貴重な意見、アドバイスをいただいたと思います。住民に情報を流すだけでなく仕掛けを作っていくということが大事。

事務局より説明のありました、議事1についてご承認いただけますでしょうか。

（委員）

異議なし

《議事1 承認》

（2）議事2 令和5年度決算見込

（事務局）

議事2について説明。

質問・意見等なし

(人吉市地域公共交通活性化協議会 迫田会長)

私の方で3月31日付に決算を行ってまいりたいと思います。事務局より説明のありました、議事2についてご承認いただけますでしょうか。

(委員)

異議なし

《議事2 承認》

(3) 議事3 人吉市地域公共交通活性化協議会の開催及び規則の廃止について

(事務局)

議事3について説明。

質問・意見等なし

(人吉市地域公共交通活性化協議会 迫田会長)

事務局より説明のありました、議事1についてご承認いただけますでしょうか。

(委員)

異議なし

(人吉市地域公共交通活性化協議会 迫田会長)

審議案件については以上となります。

いよいよ来年度から、この活性化協議会の機能を地域公共交通会議に統合し、構成メンバーの方の負担軽減、効率的な会議運営を図るということですが、重要なことは充足な交通政策の対応ができればと認識しているところでございます。

今後におきましても、本市の実情に合った交通ネットワークを構築していきたいと思いますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

2 報告事項

(1) 報告事項1 人吉市予約型乗合タクシー（下田代線）の状況について

(事務局)

報告事項1について説明。

質問・意見

(大分大学経済学部 大井教授)

確認ですが、R5年度の10月11月の運行回数の数字が急激に増えているが、この時期に何かされたのか。

(事務局)

この時期には何もしていない。もしかするとコロナが落ち着いてお出かけされる機会が増えたのかもしれません、伸びた原因については不明です。

(大分大学経済学部 大井教授)

便数が1便増える前で、この増加率なので何か原因があると思います。相当、予約が入っていると思います。何か実証実験とかしてのかなと思ひまして聞いてみました。

(人吉市地域公共交通会議 浦本会長)

実際に乗合タクシーの予約などを受けている運行事業者から何か補足等あれば教えてほしい。

(人吉市予約型乗合タクシー運行事業者 松岡代表)

広報的なことは何もやっていない。

ご両親の方が下田代にお住まいで、娘や孫さんが人吉市内に住んでいて、1日実家にいて帰るという方も2名いらっしゃいます。そういったことで増えたのかなということも考えられる。また、仕事で使用している方もいらっしゃるということで増えていると思います。

(人吉球磨タクシー協会 北会長)

今回の増便は、町内で本当に利用される方の声の実現されたということだと思います。利用している方の声の実現できたことが、利用者の増につながったと思います。

(人吉市地域公共交通会議 浦本会長)

北会長がおっしゃられたとおり、まずはしっかり声を拾い上げて、それを皆さんに周知して充足することが利用促進につながるという事例になると思います。このような取組で他の路線につなげて、乗合率の向上と併せて、利用促進を図りたいと思います。

(人吉市老人クラブ 山口会長)

R3年度が下がっているがどういう理由で下がっているのか。

(事務局)

下がっている部分は、R2年度分でございます。(白黒で印刷しているため、グラフが見にくかった) R2年度が下がっている理由は、水害とコロナで利用者が減少しております。

(2) 報告事項2 人吉市予約型乗合タクシー(矢岳線)の状況について

(事務局)

報告事項2について説明。

質問・意見

(町内会長連合会 吉田会長)

矢岳地区はJRも通っていない状況で陸の孤島となっている。非常に交通の便がなく、高齢化も進んでいる。今回の乗合タクシーの件で、利用者がいないということだったが、住民の理解が深まっていないと思うので、説明にあったように、再度、説明をして、よく理解してもらって住民の方に使ってもらうようにしてほしい。

(事務局)

早急に対応して、利用をしてもらうようにしたいと考えております。

(3) 報告事項3 人吉市地域公共交通会議条例の改正について

(事務局)

報告事項3について説明

質問・意見なし

3 その他

質問・意見等 なし